

## 今日の説教のポイント<創世記 20 章 1~18 節>

### ①12 章に載っている瓜二つの出来事との違いは何か？

12 章と 20 章には瓜二つの出来事が載っています。しかし明らかな違いがあります。20 章の方は、出来事の筋より、そこでなされた登場人物と神様の会話に重きが置かれているということです。それによって、考えるべき問題がより明確に示されていると言えるでしょう。

### ②アビメレクに罪はあるのか？

神様が選びの民ではない異邦人アビメレクにわざわざ語りかけられたこと、さらに、彼の言い返しを聞かれて前言を変更されたこと、それらからアビメレクの罪が問題ではないことが分かります。さらに、「直ちに、あの人の妻を返しなさい」(7)という神様の命令に答えて、知らないでしてしまったことであるにせよ、アビメレクが償いの意を込めて多くの賠償をなして謝罪の意を表したところには教えられるところ大です。まさに“異邦人あっぱれ”というところです。

### ③神様が選ばれた信仰の父祖アブラハムの罪を考える

アブラハムは自分のしたことの言い訳として、「この土地には、神を畏れることが全くないので」(11)と言いました。しかし、実際はアビメレクもその家来も全くそうではありませんでした(8 節)。アブラハムは持つ必要のない心配を勝手に抱き、神様に向かって問うこともせず、道を踏み外したのです。あっぱれな異邦人に対して、情けない神の民といったところでしょうか。

### ④それでもアブラハムの祈りを聞かれる神様。驚きの聖書の福音！

しかし最後に、「アブラハムが神に祈ると、神はアビメレクとその妻、および侍女たちをいやされたので」(17)とあります。どうしようもない不信仰な姿を示したアブラハムなのに、彼がアビメレクたちのために祈ったら、神様はそれを聞かれたのです！ どんな罪人であっても、他者のために執り成し手として、すなわち、神様の救済の力を媒介する働き手として用いられるのです！ どんな者も新しく生き直せる、聖書の神様の驚きの福音がここに示されています！